

- ※新人が実施日を記載してください。
- 「見学(やってみせる)」は最低2回行ってください。
- 「協同参加(模倣、一緒にやる)」はリスク最優先で一緒にやってください。
- 「実施」は項目ごとに監視下で患者にやらせてください。
- 他の患者に関してもOKかサポーターと検討してよければ「自立」としてください。

大項目2 臨床実践能力

中項目1 端末の基本的な操作(入力)を理解する ※プリセプター

細項目	入職時 (卒前実習)	見学1 (解説)	見学2 (解説)	協同参加1 (一緒にやる)	協同参加2 (一緒にやる)	実施 (監視のもと自力で実施)	自立
細項目1 電子カルテの操作方法が理解でき確認できる							
電子カルテからアナムネ情報を確認できる							
電子カルテから各種検査結果・画像検査結果を確認できる							
電子カルテから血液・生化学検査情報を確認できる							
電子カルテから服薬状況を確認できる							
電子カルテから指示コメントや安静度を確認できる							
電子カルテから検温表を確認できる							
記録は誰が見てもわかりやすい文章で記録して専門用語や略語は控えて使用する							
リハスタの単位登録時間にリンクして電子カルテの診察記事を5分以内として入力できる							
診療カルテ(部門記事)は観察事項と考察をわけてSOAPで記録できる							
リハビリテーション総合実施計画書を印刷して患者に説明と同意を得た上でコストを算定できる							
スキヤナ依頼用紙を印刷しスキヤナ依頼用紙とともに定められた場所へ提出できる							
電子カルテ上に付箋を入力できる							
施設間報告書(サマリー)の作成方法が理解でき入力できる							
細項目2 Comedixの操作方法が理解でき入力できる							
Comedix(お知らせ、各種文書、リハ科関連文書、議事録、スケジュール、メール)について理解し入力できる							
細項目3 リハスタの操作方法が理解でき入力できる							
リハスタの単位入力ができる							
リハスタの各種必要な算定(退院時指導料・リハ総合計画評価料)を選択して算定入力ができる							
細項目4 ファイルメーカーの操作方法が理解でき入力できる							
休暇時の申し送りの作成方法が理解でき入力できる							
退院患者、転科患者の処理方法が理解でき入力できる							
カンファレンス申し送り方法が理解でき入力できる							
廃用BIの入力方法が理解でき入力できる							
計画書および退院時指導チェックの入力方法が理解でき入力できる							
細項目5 ICTを用いた業務管理について理解し実践できる							
科内共有のGoogleドライブ、LINE、ポータルサイトの利用方法や活用について理解し実践できる							

中項目2 リスク管理 ※サポーター、プリセプター

細項目	入職時 (卒前実習)	見学1 (解説)	見学2 (解説)	協同参加1 (一緒にやる)	協同参加2 (一緒にやる)	実施 (監視のもと自力で実施)	自立
細項目1 感染対策について理解して実践できる							
スタンダードプリコーション(標準予防策)ができる							
ゴーグルの使用法、タイミングを理解して実践できる							
ガウンテクニックを理解し実践できる							
医療廃棄物の分別を理解し実践できる							
感染対策が必要な患者を見極めその対策方法が分かる							
細項目2 医療安全を理解し実践できる							
対象者のプライバシーおよび個人情報保護することができる							
患者に氏名を名乗ってもらう又はリストバンドで確認して患者識別ができる							
褥瘡予防策(マットレスやポジショニング)を理解し実践できる							
転倒転落防止策(ベッド、抑制具、車椅子、離床センサー)を実施できる							
写真や動画撮影をする際の手続きを理解し実践できる							
緊急時に他職種やスタッフとともに対応することができる							
インシデント・アクシデント発生時の対応・報告・レポート作成方法が理解でき実践できる							
患者周囲設備(ベッド、抑制具、車椅子)の適切な取り扱いができる							
細項目3 患者の病態を理解し専門的知識を習得する							
病態やリスクを理解し事前に把握できる							
患者の状態・行動を予測し危険を察知することができる							

中項目3 評価 ※サポーター

細項目	入職時 (卒前実習)	見学1 (解説)	見学2 (解説)	協同参加1 (一緒にやる)	協同参加2 (一緒にやる)	実施 (監視のもと自力で実施)	自立
細項目1 介入前準備ができる							
血液データ・画像所見・心電図波形・指示コメントなどの情報収集が適切にできる							
疾患や障害に対して適切な評価項目を選択することができる							
他部門と調整をしながら評価項目や評価バッテリーなどを選定できる							
細項目2 各種検査・測定が正確にできる							
検査測定に関するオリエンテーションを実施できる							
患者の血圧・脈拍・酸素飽和度を正しく測定できる							
モニターの見方、取り扱い方法を理解し実践できる							
細項目3 実際に評価ができる							
個人因子や環境因子の情報収集ができる							
基礎的な身体機能評価(意識状態:JCS、GCS)ができる							
基礎的な身体機能評価(関節可動域測定)ができる							
基礎的な身体機能評価(筋力測定:MMT、MRC)ができる							
基礎的な身体機能評価(炎症所見評価:熱感・腫脹・発赤・疼痛)ができる							
基礎的な身体機能評価(形態測定:肢長周径)ができる							
基礎的な身体機能評価(運動麻痺検査:BRS、SIAS motor、Barre-Mingazzini検査)ができる							
基礎的な身体機能評価(感覚検査:表在、深部)ができる							
基礎的な身体機能評価(反射検査:深部腱反射、病的反射)ができる							
基礎的な身体機能評価(協調性検査:上肢、下肢、体幹)ができる							
基礎的な身体機能評価(姿勢・アライメント観察:座位、立位)ができる							
基礎的な身体機能評価(基本動作分析:寝返り、起き上がり)ができる							
基礎的な身体機能評価(基本動作分析:起立、移乗)ができる							
基礎的な身体機能評価(基本動作分析:歩行)ができる							
基礎的な身体機能評価(バランス検査:BBS、TUG、miniBESTest)ができる							
基礎的な身体機能評価(歩行能力評価:10MWT、FAC)ができる							

